

THEOベスト・バランス・ファンド

運用報告書（全体版）

第3期（決算日 2024年1月31日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、「THEOベスト・バランス・ファンド」は、2024年1月31日に第3期の決算を行いました。
ここに作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2021年10月29日）	
運用方針	「THEOベスト・バランス・ファンド」は、マザーファンド受益証券へ投資を行います。以下はマザーファンドである「THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）」、「THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）」、「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）」の運用方針です。この投資信託は、主として世界の上場投資信託証券（ETF）への投資を通じて、グロース運用（株式中心）、インカム運用（債券中心）、インフレヘッジ運用（实物資産中心）を行う3つの投資信託に分散投資を行い、投資信託財産の長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	ベビーファンド	「THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）」受益証券、「THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）」受益証券、「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）」受益証券を主要な投資対象とします。
	マザーファンド	世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	①上場投資信託証券（ETF）等への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ③「THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）」受益証券、「THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）」受益証券、「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）」受益証券への実質投資割合には制限を設けません。 ④一般社団法人投資協会規則に定める一者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。
	マザーファンド	①投資信託証券（ETF）等への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ③「THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）」受益証券、「THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）」受益証券、「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）」受益証券への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年1月31日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

<照会先>

電話番号：03-6629-7090

（受付時間：委託会社の営業日の9：30～17：00）

ホームページ：<https://www.money-design.com/>



東京都千代田区紀尾井町1番3号

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分 込 配 金	期 騰 落	中 率		
(設定日) 2021年10月29日	円 10,000	円 —		% —	% —	百万円 1
1期(2022年1月31日)	9,749	0	△ 2.5	99.6	0.974908	
2期(2023年1月31日)	10,096	0	3.6	99.4	25	
3期(2024年1月31日)	12,437	0	23.2	98.5	109	

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2023年1月31日	円 10,096		% —	% 99.4
2月末	10,339		2.4	98.8
3月末	10,278		1.8	98.8
4月末	10,431		3.3	99.4
5月末	10,817		7.1	99.0
6月末	11,478		13.7	98.9
7月末	11,485		13.8	98.9
8月末	11,717		16.1	98.8
9月末	11,613		15.0	98.8
10月末	11,323		12.2	98.9
11月末	11,861		17.5	99.1
12月末	11,976		18.6	98.5
(期 末) 2024年1月31日	12,437		23.2	98.5

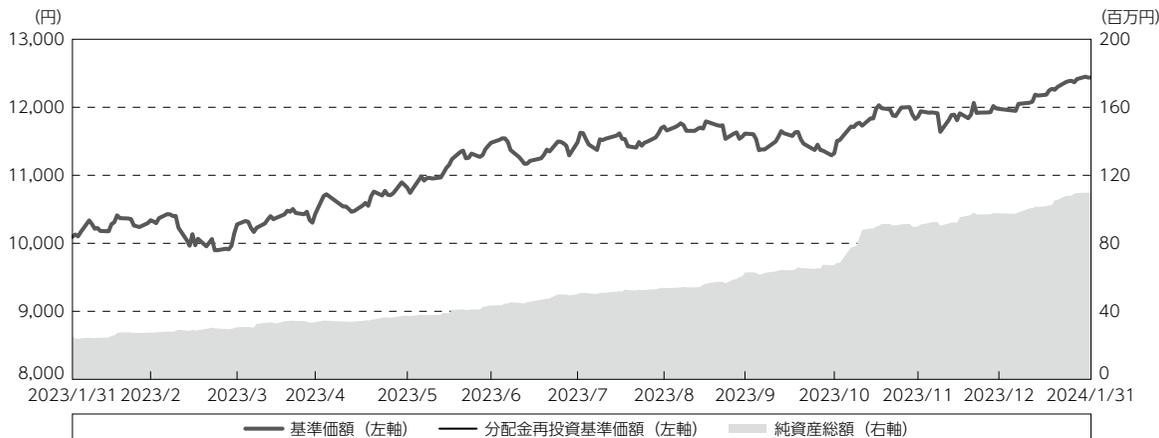
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2023年2月1日～2024年1月31日)

期中の基準価額等の推移



期首：10,096円

期末：12,437円(既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：23.2%(分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2023年1月31日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示していません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、+23.2%となりました。

当ファンドは、「THEO グロース・マザーファンド(世界の株式中心)」受益証券、「THEO インカム・マザーファンド(世界の債券中心)」受益証券、および「THEO リアルアセット・マザーファンド(世界の実物資産中心)」受益証券を組み入れることによりファンド・オブ・ファンズ方式での運用を行っております。

当期は期初から中盤にかけて米国や欧州でのインフレリスクとそれに対する中央銀行による利上げなどの金融引き締め政策を背景に、株式や債券、実物資産が軟調な動きとなりました。終盤は、欧米でのインフレ鈍化を受けて利上げ終了観測が広がり、リスク選好的な市場環境となりました。通期では株式と債券、金、米国物価連動国債がプラス寄与となりました。組み入れている対象の各マザーファンドは為替ヘッジを行っていないことから、為替相場の変動が基準価額に反映されます。当期においては、主に日米の中央銀行の金融政策の違いを反映して、両国間の金利差が拡大したことで米ドル高円安となり、このことが組み入れ対象のマザーファンドの基準価額にプラス寄与しました。結果として、通期では、いずれのマザーファンドも当ファンドに対しプラス寄与となりました。

投資環境

当期においては、欧米を中心としたインフレリスクや各国中央銀行によるインフレ抑制のための金利引き上げ政策が金融市場の動向に大きな影響を与えました。また、欧米を中心とした金融システム不安の高まりや、米国の債務上限問題、中東情勢懸念による地政学リスクなども資産価格の変動要因となりました。当期は期初から中盤まで株式、債券、および実物資産などは下落傾向でしたが、終盤では欧米のインフレリスクは一旦落ち着いた様子で、リスク選好的な市場環境となりつつあり、金融市場は全体的に回復基調となりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、「THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）」受益証券、「THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）」受益証券、および「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）」受益証券を組み入れることによりファンド・オブ・ファンズ方式での運用を行っております。

THEO グロース・マザーファンドでは、世界各国の企業の成長性を享受すること、THEO インカム・マザーファンドでは、世界各国の債券等の金利水準に着目し、安定した収益を確保すること、また、THEO リアルアセット・マザーファンドでは、世界の实物資産への投資を通じ資産価値を保全することを目的としております。当ファンドにおいては、これら3つのマザーファンドに、資産形成層の嗜好分析に基づいた資産配分で分散投資することで投資信託財産の長期的な成長を目指します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第3期
	2023年2月1日～ 2024年1月31日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,436

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

引き続き、「THEO グロース・マザーファンド(世界の株式中心)」受益証券、「THEO インカム・マザーファンド(世界の債券中心)」受益証券、および「THEO リアルアセット・マザーファンド(世界の実物資産中心)」受益証券への投資を通じ、実質的に世界のETFに投資することで、下落リスクを抑えつつ中長期的に安定したリターンの獲得を目指します。定期的に評価基準に基づいて組み入れ比率を調整してまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年2月1日～2024年1月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	61	0.544	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(29)	(0.261)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(29)	(0.261)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.046	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(投 資 信 託 証 券)	(5)	(0.046)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	16	0.146	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.024)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(4)	(0.039)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(9)	(0.084)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	82	0.736	
期中の平均基準価額は、11,117円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

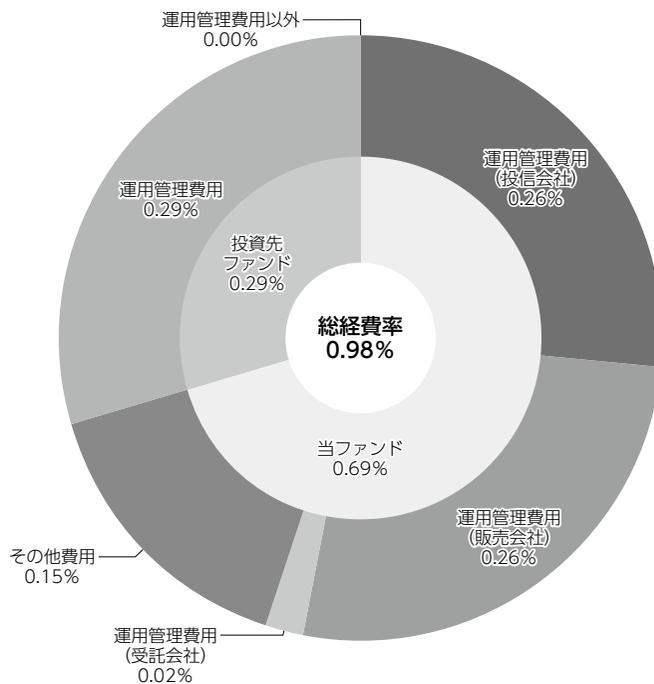
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.98%です。



(単位：%)

総経費率(①+②+③)	0.98
①当ファンドの費用の比率	0.69
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.29
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年2月1日～2024年1月31日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
THEO グロース・マザーファンド (世界の株式中心)	千口 21,342	千円 40,850	千口 2,034	千円 3,677
THEO インカム・マザーファンド (世界の債券中心)	21,045	28,419	1,488	1,899
THEO リアルアセット・マザーファンド (世界の実物資産中心)	5,705	9,067	394	608

○利害関係人との取引状況等

(2023年2月1日～2024年1月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年2月1日～2024年1月31日)

設定時 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	当期末残高 (元本)	取 引 理 由
百万円 1	百万円 —	百万円 —	百万円 1	投資信託の当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2024年1月31日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期	末
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
THEO グロース・マザーファンド (世界の株式中心)	8,204	27,512	59,217
THEO インカム・マザーファンド (世界の債券中心)	7,252	26,809	38,300
THEO リアルアセット・マザーファンド (世界の実物資産中心)	1,862	7,173	12,058

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2024年1月31日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
THEO グロース・マザーファンド (世界の株式中心)	59,217	53.9
THEO インカム・マザーファンド (世界の債券中心)	38,300	34.8
THEO リアルアセット・マザーファンド (世界の実物資産中心)	12,058	11.0
コール・ローン等、その他	365	0.3
投資信託財産総額	109,940	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) THEO グロース・マザーファンド (世界の株式中心) において、当期末における外貨建純資産 (7,443,072千円) の投資信託財産総額 (7,749,738千円) に対する比率は96.0%です。

(注) THEO インカム・マザーファンド (世界の債券中心) において、当期末における外貨建純資産 (2,556,219千円) の投資信託財産総額 (2,593,103千円) に対する比率は98.6%です。

(注) THEO リアルアセット・マザーファンド (世界の実物資産中心) において、当期末における外貨建純資産 (514,504千円) の投資信託財産総額 (518,647千円) に対する比率は99.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=147.55円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年1月31日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	109,940,389
コール・ローン等	323,423
THEO グロース・マザーファンド (世界の株式中心) (評価額)	59,217,950
THEO インカム・マザーファンド (世界の債券中心) (評価額)	38,300,304
THEO リアルアセット・マザーファンド (世界の実物資産中心) (評価額)	12,058,033
未収入金	40,679
(B) 負債	300,299
未払解約金	50,741
未払信託報酬	207,659
その他未払費用	41,899
(C) 純資産総額(A-B)	109,640,090
元本	88,157,647
次期繰越損益金	21,482,443
(D) 受益権総口数	88,157,647口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,437円

(注) 当ファンドの期首元本額は24,910,485円、期中追加設定元本額は69,519,333円、期中一部解約元本額は6,272,171円です。

(注) 1口当たり純資産額は1.2437円です。

○損益の状況 (2023年2月1日～2024年1月31日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	67
その他収益金	67
(B) 有価証券売買損益	11,970,712
売買益	12,317,952
売買損	△ 347,240
(C) 信託報酬等	△ 362,625
(D) 当期損益金(A+B+C)	11,608,154
(E) 前期繰越損益金	△ 396,699
(F) 追加信託差損益金	10,270,988
(配当等相当額)	(1,443,955)
(売買損益相当額)	(8,827,033)
(G) 計(D+E+F)	21,482,443
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	21,482,443
追加信託差損益金	10,270,988
(配当等相当額)	(1,614,279)
(売買損益相当額)	(8,656,709)
分配準備積立金	11,211,455

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,548,271円)、費用控除後の有価証券等損益額(9,404,175円)、信託約款に規定する収益調整金(10,270,988円)および分配準備積立金(259,009円)より分配対象収益は21,482,443円(1万口当たり2,436円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

○お知らせ

該当事項はございません。

THEO グロース・マザーファンド （世界の株式中心）

運用報告書

第7期（決算日 2024年1月31日）
（2023年2月1日～2024年1月31日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2017年3月1日）
運用方針	①主として世界の投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界中の企業の成長性を享受することを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。
主要運用対象	世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券（ETF）への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

 お金のデザイン

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 純 資 産 額	投 証 組 入 比 率
		期 騰 落	中 率		
	円		%		%
3期(2020年1月31日)	11,915		14.3		93.9
4期(2021年2月1日)	13,564		13.8		99.9
5期(2022年1月31日)	15,692		15.7		99.6
6期(2023年1月31日)	16,545		5.4		99.4
7期(2024年1月31日)	21,524		30.1		98.2

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 証 組 入 比 率	信 託 純 資 産 額
		騰 落	率		
(期 首) 2023年1月31日	円		%		%
2月末	16,545		—		99.4
3月末	17,005		2.8		98.9
4月末	16,862		1.9		98.9
5月末	17,177		3.8		99.3
6月末	17,950		8.5		98.9
7月末	19,364		17.0		98.8
8月末	19,706		19.1		99.0
9月末	19,925		20.4		98.8
10月末	19,593		18.4		98.9
11月末	18,866		14.0		98.8
12月末	20,094		21.5		99.3
(期 末) 2024年1月31日	20,555		24.2		98.2
	21,524		30.1		98.2

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2023年2月1日～2024年1月31日)

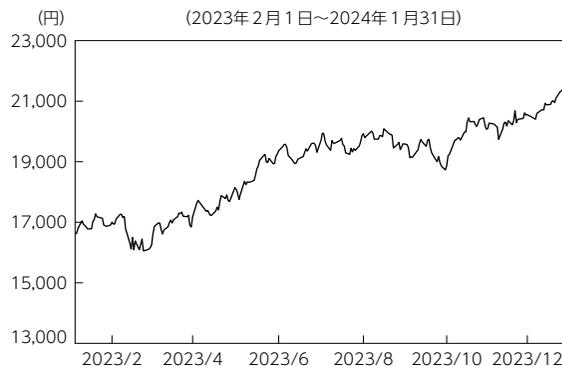
期中の基準価額等の推移

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、+30.1%となりました。

当期は、米国や欧州における金融政策の動向を窺う相場状況の中、インフレリスク低下に伴う早期利下げ期待などから株式市場が上昇したことがプラス要因となりました。また、当ファンドは為替ヘッジを行っていないため為替相場の変動が基準価額に反映されますが、当期の為替相場は日本円に対して米ドル高となったため、基準価額にはプラスとなりました。

【基準価額の推移】



投資環境

世界の株式市場の指数であるMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）は+17.1%となりました。一方、米ドル円レートは+13.1%の米ドル高となりました。

当期の世界株式市場は、米国や欧州の中央銀行が金融引き締め政策を継続したことなどから軟調なスタートとなりました。2023年3月下旬には金融引き締め政策が長期化した影響などから銀行の経営危機が相次ぎ、金融システムへの不安が高まりました。しかし、2023年6月に入ると米国や欧州におけるインフレ圧力が弱まり、利上げ停止時期の早期化期待から、7月にかけて株価は上昇しました。その後、2023年10月には欧米金利の高止まりや、パレスチナを実効支配するハマスとイスラエルが戦争状態となり市場心理が悪化したことなどから株価は下落しました。2023年11月以降は、再び米国や欧州においてインフレ圧力が弱まったことで早期利下げ観測が広がり、世界株式は大きく上昇して期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の株式へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界各国の企業の成長性を享受し、投資信託財産を成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

○今後の運用方針

引き続き、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の企業の成長を享受することを目指します。定期的に、評価基準に基づいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

○1万口当たりの費用明細

(2023年2月1日～2024年1月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 8 (8)	% 0.042 (0.042)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	5 (5) (0)	0.027 (0.026) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	13	0.070	
期中の平均基準価額は、18,636円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年2月1日～2024年1月31日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	INVESCO QQQ TRUST SERIES 1	6,852	2,261	25,358	9,226
	Invesco Nasdaq 100 ETF	67,591	10,327	1,307	197
	ISHARES MSCI PACIFIC EX JAPA	29,840	1,242	9,722	435
	ISHARES MSCI MEXICO ETF	11,281	682	4,147	256
	ISHARES CHINA LARGE-CAP ETF	4,377	127	39,134	1,227
	ISHARES MSCI USA ESG SELECT	2,955	260	21,988	2,041
	ISHARES MSCI TAIWAN ETF	1,971	89	43,664	1,954
	ISHARES MSCI JAPAN ETF	20,255	1,239	4,708	287
	VANGUARD FTSE EMERGING MARKE	89,928	3,657	6,222	251
	VANGUARD FTSE EUROPE ETF	35,650	2,148	18,459	1,139
	VANGUARD MID-CAP VALUE ETF	21,476	2,922	3,292	440
	VANGUARD MID-CAP GROWTH ETF	5,189	1,035	4,804	938
	VANGUARD VALUE ETF	38,812	5,520	6,739	940
WISDOMTREE INDIA EARNINGS	9,831	334	45,470	1,622	
小計	346,008	31,849	235,014	20,961	

(注) 金額は受け渡し代金。

○利害関係人との取引状況等

(2023年2月1日～2024年1月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年1月31日現在)

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率	
	口 数	口 数	評 価 額			
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%	
INVESCO QQQ TRUST SERIES 1	18,506	—	—	—	—	
Invesco Nasdaq 100 ETF	—	66,284	11,603	1,712,024	22.4	
ISHARES MSCI PACIFIC EX JAPA	37,059	57,177	2,392	352,981	4.6	
ISHARES MSCI MEXICO ETF	18,069	25,203	1,689	249,264	3.3	
ISHARES CHINA LARGE-CAP ETF	34,757	—	—	—	—	
ISHARES MSCI USA ESG SELECT	19,033	—	—	—	—	
ISHARES MSCI TAIWAN ETF	41,693	—	—	—	—	
ISHARES MSCI JAPAN ETF	43,616	59,163	3,900	575,535	7.5	
VANGUARD FTSE EMERGING MARKE	39,476	123,182	4,901	723,203	9.5	
VANGUARD FTSE EUROPE ETF	76,951	94,142	6,041	891,363	11.7	
VANGUARD MID-CAP VALUE ETF	22,532	40,716	5,875	866,963	11.4	
VANGUARD MID-CAP GROWTH ETF	14,142	14,527	3,199	472,032	6.2	
VANGUARD VALUE ETF	41,721	73,794	11,233	1,657,526	21.7	
WISDOMTREE INDIA EARNINGS	35,639	—	—	—	—	
合 計	口 数 ・ 金 額	443,194	554,188	50,836	7,500,896	
	銘 柄 数 < 比 率 >	13	9	—	< 98.2% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2024年1月31日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 7,500,896	% 96.8
コール・ローン等、その他	248,842	3.2
投資信託財産総額	7,749,738	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（7,443,072千円）の投資信託財産総額（7,749,738千円）に対する比率は96.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=147.55円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年1月31日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	7,810,806,242	
コール・ローン等	248,789,477	
投資信託受益証券(評価額)	7,500,896,065	
未収入金	61,120,700	
(B) 負債	175,194,893	
未払金	172,284,575	
未払解約金	2,910,318	
(C) 純資産総額(A-B)	7,635,611,349	
元本	3,547,512,748	
次期繰越損益金	4,088,098,601	
(D) 受益権総口数	3,547,512,748口	
1万口当たり基準価額(C/D)	21,524円	

(注) 当ファンドの期首元本額は2,748,417,559円、期中追加設定元本額は1,169,376,518円、期中一部解約元本額は370,281,329円です。

(注) 2024年1月31日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・THEO グロース・A I ファンド（世界の株式中心） 2,623,189,442円
- ・おまかせ運用グロース・ファンド（世界の株式中心） 896,810,785円
- ・THEOベスト・バランス・ファンド 27,512,521円

(注) 1口当たり純資産額は2,1524円です。

○損益の状況 (2023年2月1日～2024年1月31日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	118,460,629	
受取配当金	118,045,925	
受取利息	414,704	
(B) 有価証券売買損益	1,393,651,732	
売買益	1,456,113,107	
売買損	△ 62,461,375	
(C) 保管費用等	△ 1,570,655	
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,510,541,706	
(E) 前期繰越損益金	1,798,716,120	
(F) 追加信託差損益金	1,087,045,298	
(G) 解約差損益金	△ 308,204,523	
(H) 計(D+E+F+G)	4,088,098,601	
次期繰越損益金(H)	4,088,098,601	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。

THEO インカム・マザーファンド （世界の債券中心）

運用報告書

第7期（決算日 2024年1月31日）
（2023年2月1日～2024年1月31日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2017年3月1日）
運用方針	①主として世界の投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界中の金利を享受することを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。
主要運用対象	世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券（ETF）への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

 お金のデザイン

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 純 資 産 額	投 証 組 入 比 率
		期 騰 落	中 率		
	円		%		%
3期(2020年1月31日)	11,093		10.6		96.2
4期(2021年2月1日)	11,179		0.8		100.0
5期(2022年1月31日)	11,977		7.1		99.7
6期(2023年1月31日)	12,130		1.3		99.4
7期(2024年1月31日)	14,286		17.8		98.7

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 証 組 入 比 率	信 託 純 資 産 額
		騰 落	率		
(期 首) 2023年1月31日	円		%		%
2月末	12,130		—		99.4
3月末	12,469		2.8		98.8
4月末	12,415		2.3		98.5
5月末	12,530		3.3		99.3
6月末	12,968		6.9		98.6
7月末	13,476		11.1		98.5
8月末	13,172		8.6		98.8
9月末	13,637		12.4		98.7
10月末	13,771		13.5		98.7
11月末	13,642		12.5		98.7
12月末	13,932		14.9		98.6
(期 末) 2024年1月31日	13,795		13.7		98.5
	14,286		17.8		98.7

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2023年2月1日～2024年1月31日)

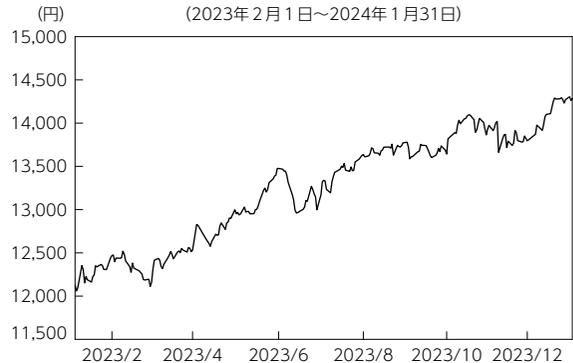
期中の基準価額等の推移

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、+17.8%となりました。

当期においては、欧米を中心としたインフレリスクと各国中央銀行による対応措置としての政策金利の引き上げにより、当期中盤以降まで欧米の国債価格は下落傾向となりました。また、中東情勢懸念による地政学リスクの高まりにより市場環境はリスク回避的となり、ハイ・イールド社債なども軟調な動きとなりました。終盤では、欧米でのインフレ鈍化から利上げ終了観測が広がり、国債価格は上昇傾向となりました。結果として通期では、米国国債、投資適格社債、ハイ・イールド社債などが主なプラス寄与となりました。当ファンドは、為替ヘッジを行っていないことから、為替相場の変動が基準価額に反映されます。今期は、為替相場が円安ドル高となったため、当ファンドの基準価額にプラスに寄与しました。

【基準価額の推移】



投資環境

世界の債券市場の指数であるブルームバーグ・グローバル総合指数（米ドルベース）は、+0.4%となりました。一方、米ドル円レートは+13.1%の米ドル高となりました。

当期においては、欧米を中心としたインフレリスクや各国中央銀行によるインフレ抑制のための金利引き上げにより、中盤以降まで欧米の国債価格は下落傾向となりました。また、欧米を中心とした金融システム不安の高まりや、米国の債務上限問題、中東情勢懸念による地政学リスクなども金利や社債価格などの変動要因となりました。日本では、日銀によるイールドカーブ・コントロールの柔軟化などの政策修正や米国金利上昇に伴い国内金利は上昇となりました。終盤においては、各国の経済指標や当局者らの発言などにより金利動向は左右される状況ではあるものの、欧米のインフレリスクは一旦落ち着いた様子で、利上げ終了観測の広がりから長期金利は低下傾向となり、リスク選好的な市場環境になりつつあります。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の債券等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界各国の債券等の金利水準に着目し、安定した収益を確保することで、投資信託財産を着実に成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

○今後の運用方針

引き続き、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の高金利を享受することを目指します。定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、組み入れ比率を調整してまいります。

○1万口当たりの費用明細

(2023年2月1日～2024年1月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 5 (5)	% 0.035 (0.035)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	3 (3) (0)	0.021 (0.020) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	8	0.056	
期中の平均基準価額は、13,161円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年2月1日～2024年1月31日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	ISHARES IBOXX INVESTMENT GRA	23,925	2,564	1,384	145
	ISHARES INTERNATIONAL TREASU	12,131	485	2,736	110
	ISHARES JP MORGAN USD EMERGI	7,945	645	7,945	685
	ISHARES IBOXX USD HIGH YIELD	4,057	302	4,136	304
	ISHARES MBS ETF	13,720	1,265	4,641	417
	ISHARES 1-5Y INV GRADE CORP	18,018	907	33,986	1,724
	SPDR BLACKSTONE SENIOR LOAN ETF	29,691	1,236	18,442	765
	SPDR BLOOMBERG SHORT TERM HIGH	20,817	512	2,820	69
	VANGUARD SHORT-TERM TREASURY	47,035	2,726	3,698	215
国	VANGUARD INTERMEDIATE-TERM T	2,571	153	28,257	1,676
	小計	179,910	10,798	108,045	6,114

(注) 金額は受け渡し代金。

○利害関係人との取引状況等

(2023年2月1日～2024年1月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年1月31日現在)

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率	
	口 数	口 数	評 価 額			
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%	
ISHARES IBOXX INVESTMENT GRA	16,960	39,501	4,340	640,479	24.7	
ISHARES INTERNATIONAL TREASU	1,773	11,168	446	65,847	2.5	
ISHARES IBOXX USD HIGH YIELD	79	—	—	—	—	
ISHARES MBS ETF	25,672	34,751	3,242	478,447	18.5	
ISHARES 1-5Y INV GRADE CORP	49,710	33,742	1,732	255,578	9.9	
SPDR BLACKSTONE SENIOR LOAN ETF	29,893	41,142	1,728	255,082	9.9	
SPDR BLOOMBERG SHORT TERM HIGH	50,416	68,413	1,727	254,882	9.8	
VANGUARD SHORT-TERM TREASURY	26,913	70,250	4,101	605,234	23.4	
VANGUARD INTERMEDIATE-TERM T	25,686	—	—	—	—	
合 計	口 数 ・ 金 額	227,102	298,967	17,319	2,555,553	
	銘 柄 数 < 比 率 >	9	7	—	< 98.7% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2024年1月31日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 2,555,553	% 98.6
コール・ローン等、その他	37,550	1.4
投資信託財産総額	2,593,103	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（2,556,219千円）の投資信託財産総額（2,593,103千円）に対する比率は98.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=147.55円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年1月31日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,593,103,294
コール・ローン等	37,550,258
投資信託受益証券(評価額)	2,555,553,036
(B) 負債	3,812,989
未払金	2,584,928
未払解約金	1,228,061
(C) 純資産総額(A-B)	2,589,290,305
元本	1,812,416,335
次期繰越損益金	776,873,970
(D) 受益権総口数	1,812,416,335口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,286円

(注) 当ファンドの期首元本額は1,354,328,482円、期中追加設定元本額は614,491,620円、期中一部解約元本額は156,403,767円です。

(注) 2024年1月31日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・THEO インカム・A I ファンド（世界の債券中心） 1,250,474,876円
- ・おまかせ運用インカム・ファンド（世界の債券中心） 535,131,782円
- ・THEOベスト・バランス・ファンド 26,809,677円

(注) 1口当たり純資産額は1.4286円です。

○損益の状況 (2023年2月1日～2024年1月31日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	82,680,540
受取配当金	82,544,403
受取利息	136,137
(B) 有価証券売買損益	253,213,464
売買益	266,900,485
売買損	△ 13,687,021
(C) 保管費用等	△ 430,459
(D) 当期損益金(A+B+C)	335,463,545
(E) 前期繰越損益金	288,496,442
(F) 追加信託差損益金	202,408,839
(G) 解約差損益金	△ 49,494,856
(H) 計(D+E+F+G)	776,873,970
次期繰越損益金(H)	776,873,970

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。

THEO リアルアセット・マザーファンド （世界の実物資産中心）

運用報告書

第7期（決算日 2024年1月31日）
（2023年2月1日～2024年1月31日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2017年3月1日）
運用方針	①主として世界の投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界の 実物資産への投資と経済的に同様な効果を得る投資をすることを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあ ります。
主要運用対象	世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券（ETF）への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

 お金のデザイン

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 純 資 産 額	投 証 組 入 比 率
		期 騰 落	中 率		
	円		%		%
3期(2020年1月31日)	10,946		10.7		99.9
4期(2021年2月1日)	10,587	△	3.3		99.9
5期(2022年1月31日)	13,019		23.0		99.6
6期(2023年1月31日)	14,834		13.9		99.5
7期(2024年1月31日)	16,808		13.3		99.2

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 証 組 入 比 率	信 託 純 資 産 額
		騰 落	率		
(期 首) 2023年1月31日	円		%		%
	14,834		—		99.5
2月末	14,796	△	0.3		98.5
3月末	14,855		0.1		98.7
4月末	15,127		2.0		98.9
5月末	15,260		2.9		99.0
6月末	16,006		7.9		98.9
7月末	15,946		7.5		99.1
8月末	16,296		9.9		99.4
9月末	15,882		7.1		98.5
10月末	15,662		5.6		98.9
11月末	16,433		10.8		99.1
12月末	16,635		12.1		98.6
(期 末) 2024年1月31日	16,808		13.3		99.2

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2023年2月1日～2024年1月31日)

期中の基準価額等の推移

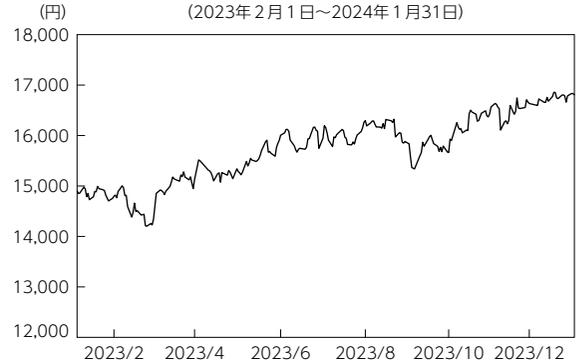
○基準価額の主な変動要因

当期、当ファンドの基準価額は、+13.3%となりました。

当ファンドでは為替ヘッジを行っていないことから、為替相場の変動が基準価額に反映されます。当期の為替相場は、1ドル130円前後で取引を開始しましたが、主に日米の中央銀行の政策スタンスの違いなどを反映して日米の金利差が拡大し米ドル高円安となり、1ドル147円台で期末を迎えました。このことが基準価額にプラス寄与しました。ファンドで組み入れているETFの米ドルベースのリターンは、金や米国物価連動国債が通期でプラスとなりましたが、それ以外はマイナスとなりました。為替の効果を考慮した基準価額への寄与度という点では、クリーン・エネルギー関連ETF以外はすべてプラス寄与となっており、組み入れ比率が高い米国不動産関連株式や金のETFの寄与度が比較的大きくなりました。

【基準価額の推移】

(2023年2月1日～2024年1月31日)



投資環境

当期の世界株式市場および現物資産市場は、前期に引き続き、インフレ動向に注目が集まるなかで欧米各国中央銀行の金融政策に反応する展開となりました。また、ウクライナにおける戦争の長期化やパレスチナをはじめとした中東情勢の緊迫化など地政学リスクの高まりも強く意識されました。

不動産、インフラ関連株式の米ドルベースのリターンは、米欧の長期金利が上昇したことなどから通期でマイナスとなりました。

貴金属は、米国金利および米ドルの動きなどをにらみながらの神経質な展開となり、10月にパレスチナ情勢の緊迫化を受けてリスク回避的な資金が流入した金が通期でプラスとなる一方で、銀は若干のマイナスとなるなど、貴金属の種類によってまちまちな結果でした。

エネルギー関連株式は、原油価格がウクライナや中東などの地政学リスクや世界経済の先行き不透明感などを背景に方向感に欠ける展開となる中、石油・ガス関連株式が若干のマイナスとなりました。また、クリーン・エネルギー関連株式は7月から10月ごろにかけて太陽光発電関連企業の業績に対する懸念などから大幅に下落しました。

米国物価連動国債は通期で若干プラスのリターンとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の实物資産等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界の实物資産への投資を通じ、投資信託財産の資産価値を保全しつつ、着実に成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

○今後の運用方針

引き続き、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の实物資産への投資と経済的に同様な効果を得ることを目指します。定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

○1万口当たりの費用明細

(2023年2月1日～2024年1月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 3 (3)	% 0.019 (0.019)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.001 (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	3	0.020	
期中の平均基準価額は、15,644円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年2月1日～2024年1月31日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	ISHARES GOLD TRUST	6,165	229	7,702	291
	ISHARES TIPS BOND ETF	4,034	428	411	44
	ISHARES US REAL ESTATE ETF	3,089	255	1,325	116
	ISHARES GLOBAL CLEAN ENERGY	4,145	67	350	5
	ISHARES GLOBAL INFRASTRUCTUR	3,063	141	79	3
	ISHARES SILVER TRUST	4,703	99	8,801	192
	SPDR DJ INTERNATIONAL REAL E	1,448	37	2,117	54
	ENERGY SELECT SECTOR SPDR	1,315	107	331	29
小計	27,962	1,366	21,116	737	

(注) 金額は受け渡し代金。

○利害関係人との取引状況等

(2023年2月1日～2024年1月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年1月31日現在)

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率	
	口 数	口 数	評 価 額			
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%	
ISHARES GOLD TRUST	16,934	15,397	592	87,488	16.9	
ISHARES TIPS BOND ETF	5,070	8,693	931	137,436	26.5	
ISHARES US REAL ESTATE ETF	9,689	11,453	1,002	147,983	28.6	
ISHARES GLOBAL CLEAN ENERGY	3,654	7,449	103	15,233	2.9	
ISHARES GLOBAL INFRASTRUCTUR	4,792	7,776	355	52,433	10.1	
ISHARES SILVER TRUST	10,818	6,720	142	21,010	4.1	
SPDR DJ INTERNATIONAL REAL E	4,598	3,929	101	14,985	2.9	
ENERGY SELECT SECTOR SPDR	2,002	2,986	253	37,449	7.2	
合 計	口 数 金 額	57,557	64,403	3,483	514,021	
	銘 柄 数 < 比 率 >	8	8	—	<99.2%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2024年1月31日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 514,021	% 99.1
コール・ローン等、その他	4,626	0.9
投資信託財産総額	518,647	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（514,504千円）の投資信託財産総額（518,647千円）に対する比率は99.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=147.55円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年1月31日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	518,647,812
コール・ローン等	4,626,340
投資信託受益証券(評価額)	514,021,472
(B) 負債	672,891
未払解約金	672,891
(C) 純資産総額(A-B)	517,974,921
元本	308,163,786
次期繰越損益金	209,811,135
(D) 受益権総口数	308,163,786口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,808円

(注) 当ファンドの期首元本額は256,032,485円、期中追加設定元本額は67,538,143円、期中一部解約元本額は15,406,842円です。

(注) 2024年1月31日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・おまかせ運用インフレヘッジ・ファンド(世界の实物資産中心) 300,989,801円
- ・THEOベスト・バランス・ファンド 7,173,985円

(注) 1口当たり純資産額は1.6808円です。

○損益の状況（2023年2月1日～2024年1月31日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	9,627,612
受取配当金	9,607,635
受取利息	19,977
(B) 有価証券売買損益	47,131,848
売買益	60,013,407
売買損	△ 12,881,559
(C) 保管費用等	△ 5,691
(D) 当期損益金(A+B+C)	56,753,769
(E) 前期繰越損益金	123,771,912
(F) 追加信託差損益金	38,505,315
(G) 解約差損益金	△ 9,219,861
(H) 計(D+E+F+G)	209,811,135
次期繰越損益金(H)	209,811,135

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。